

目次

2025年度GISA学会賞募集 -----	1p	学会からのお知らせ -----	2p
「GIS-理論と応用」が変わります！ -----	1p	事務局からのお知らせ -----	3p
学術研究発表大会が変わります！ -----	2p		

【2025年度 GISA 学会賞募集】

【学会賞委員会委員長 井上亮】

2025年度地理情報システム学会賞6部門の募集を行います。
学会賞各部門の対象者および提出物の内容、受賞者選考・
決定方法等は、以下のホームページでご確認ください。

<https://gisa-japan.org/awards/guideline.html>

募集部門：

- 「研究奨励部門」（本年3月末日時点で35歳以下の者）
- 「学術論文部門」
- 「ソフトウェア・データ部門」
- 「教育部門」
- 「著作部門」
- 「実践部門」

応募期限：2025年7月11日（金）

提出先：地理情報システム学会事務局

自薦、他薦を問わず、たくさんのご応募をお待ちしております。選考結果は、9月末日までに応募者各位にご連絡いたします。また、受賞者は、本年11月に富山大学で開催される第34回学術研究発表大会の懇親会で表彰されます。

【「GIS-理論と応用」が変わります！】

【編集委員会委員長 熊谷樹一郎】

■ 学会誌の完全電子ジャーナル化のお知らせ

「GIS-理論と応用」のVol. 33, No. 1より紙媒体での発行を取りやめ、インターネット上での公開へと移行します。具体的な変更点を以下のようにご案内いたします。

(1) エンバーゴの取りやめ

これまででは、学会誌が発行されてから2年間は学会員のみ閲覧可能とする「エンバーゴ」を設けておりました。これを廃止し、インターネット上でいち早く、かつ、広く公開する体制となります。

(2) 全文HTML公開

従来のPDFでの公開に加えて、全文HTML公開を導入します。全文HTML公開にはJ-STAGEの機能を活用します。デバイスに依存せずにスピーディーに表示でき、図表の拡大表示も可能となること、テキストベースとなることからインターネット上の検索でヒットされやすく、各国語に翻訳されやすいことなどの特徴があります。なお、紙媒体での発行の取りやめに伴って投稿規程が変更され、カラーページのチャージが廃止となっています。

(3) 大会特集号と企画特集号の発行

通常号に加えて、大会特集号と企画特集号を発行します。結果として年間4号のペースで電子ジャーナルが発行されることとなります。

(4) 書式の変更

完全電子ジャーナル化や大会特集号論文の発行を機会として、1ページあたりの分量が多くなるよう書式をあらためます。大会の予稿集論文から新しい書式が導入できるよう準備を進めています。なお、これまで年間2号のペースで発行してきた通常号については猶予期間を設けながら新しい書式を導入していきます。

(5) スケジュール

完全電子ジャーナル化には総会の議決を経る必要があり、新しい書式の導入もあることから、2025年度から2026年度は下表のような経過措置的なスケジュールとなります。Vol. 33, No. 1に掲載された論文は一旦学会ホームページで会員向け限定公開いたしますが、総会後にJ-STAGEでフリーアクセスとして公開いたします。また、新規の投稿については2025年6月頃に新しい書式をご案内いたしますが、それまでは従来の書式で投稿ください。従来書式での投稿論文の査読期間が長引き、Vol. 33, No. 2の掲載に間に合わない場合であってもJ-STAGEの早期公開の機能で対応します。早期公開を利用して従来書式で公開し、その後、新しい書式で通常公開することを想定しています。なお、早期公開であっても論文にはDOIが割り当てられ、その後に通常公開した場合もDOIは引き継がれます。

時期	発行巻号	予定
2025 年度総会まで	Vol. 33, No. 1	学会ホームページに会員限定公開
2025 年度総会以降 ～6月頃		PDF および全文 HTML で J-STAGE に フリーアクセスで公開
2025 年7月頃～12月頃	Vol. 33, No. 2	PDF および全文 HTML で J-STAGE に フリーアクセスで公開
2025 年6月頃	Vol. 34, No. 1	新書式のアナウンス開始、 新書式での論文投稿の受付開始
2026 年1月頃～6月頃		新書式の PDF および全文 HTML で J-STAGE にフリーアクセスで公開
2026 年7月頃～12月頃	Vol. 34, No. 3*	新書式の PDF および全文 HTML で J-STAGE にフリーアクセスで公開

*大会特集号論文が Vol. 34, No. 2 で発刊されるため、No. 3 が通常号となります。

【学術研究発表大会が変わります！】

【大会実行委員会委員長 沖拓弥】
【編集委員会委員長 熊谷樹一郎】

■ 大会発表申込日時の変更と GIS—理論と応用 大会特集号のお知らせ

2025 年の第 34 回学術研究発表大会に関して、大きな変更が 2 点ございますのでご案内いたします。

(1) 大会発表申込日の変更

本大会より、大会発表申込、および、予稿集論文提出を同時に行うこととし、その締切を 8 月 31 日（日）正午に設定します。また、(2) に記す、学会誌「GIS—理論と応用」大会特集号の論文審査申込も合わせて受付します。なお、ポスター発表の場合は予稿集論文の提出は任意です。企画セッション・機器展示の申込締切も同じ日時に統一します。

(2) GIS—理論と応用 大会特集号

2026 年より、学会誌「GIS—理論と応用」において、学術研究発表大会での発表を対象とした大会特集号を発行することになりました。学術研究発表大会での発表内容を充実させた査読論文を、年度内に出版できる機会となります。

2026 年発行の大会特集号 (Vol. 34, No. 2) への投稿資格を有するのは、2025 年開催の第 34 回学術研究発表大会で予稿集論文 (4 ページ) を投稿し、口頭発表もしくはポスター発表を行った、地理情報システム学会の会員である個人です。(1) に記載の通り、大会発表申込・予稿集論文提出と同時に、大会特集号論文の審査申込を受け付けますが、原稿提出は大会の 2 週間後に設定しており、大会での議論を踏まえて内容をブラッシュアップする時間があります。分量の制限は、規定の書式で 6～8 ページとなります。書式の変更も予定されていますので、学会からのメールやホームページ上のアナウンスにご注意ください。

なお、初年度は、編集体制の制約のため、投稿申込数に 10 件程度の上限を設ける予定です。早期に業績を上げることに對するニーズが強い、第一著者が学生や若手の方から優先して受け付けます。受付の上限を超えた場合は、「GIS—理論と応用」通常号への投稿をご案内いたします。ご了承ください。

日時	予定
2025 年8月31日（日）正午	大会発表の申込・予稿集論文の提出・ 大会特集号論文審査の申込
2025 年11月1日（土）・2（日）	富山大学にて第 34 回学術研究発表大会 開催
2025 年11月17日（月）正午	大会特集号論文の原稿提出締切 (注) 大会特集号論文の題目は、予稿集論文の 題目と同じでも構わない。大会特集号論文が採 択された場合、Confit 上で公開される予稿集の論文を、 J-STAGE 上の大会特集号論文へのリンクに置き換 える。
2025 年12月中旬	一次判定結果の連絡
2026 年1月13日（火）正午	修正原稿の締切
2026 年1月下旬	採否の通知・投稿料の請求書類発送
2026 年2月4日（水）正午	最終原稿の提出
2026 年2月中旬	J-STAGE 上で早期公開 (DOI 付与)・掲載 証明の発行
以降	組版・校正完了後、通常公開に移行

【学会からのお知らせ】

■ 2025 年度一般社団法人地理情報システム学会定時社員総会のご案内

社員総会で議決権を有するのは代議員の方のみですが、他の正会員の方も出席し意見を述べていただくことができます。

日程：2025 年 5 月 31 日（土）

詳しくは、後日ホームページに掲載いたします。

■ 学会後援行事等のお知らせ

第 22 回 GIS コミュニティフォーラム（後援）

主催：ArcGIS ユーザー会

日程：2025 年 5 月 29 日（木）～30 日（金）

会場：東京ミッドタウン（六本木）

<https://www.esri.jp/events/gcf/gcf2025/>

■ IAG' i 国際シンポジウムおよび ICEO&SI 2025 の開催について（予告）

今年の IAG' i 国際シンポジウムは、ICEO&SI 2025 内にて行われることになりました。

ICEO&SI 2025 は 7 月 3 日～7 月 4 日に台湾の国立聯合大学 (National United University) で開催されます。今年是对面開催の予定です。(https://2025-iceo-si-en.weebly.com/)

GISA 会員には 10 名までの招待枠があり、大会参加費が無料となります。投稿・参加登録の期限など詳細が分りましたら、学会 Web サイトより参加者の募集を行います。

参加ご希望の方は学会 Web サイトやメールニュースの続報にご注意ください。

■ 2025 年度 GIS 教育実践アワード—初等中等教育における GIS を活用した授業に係る優良事例表彰— について（予告）

2025 年度も GIS 教育実践アワードの表彰事業を予定しております。募集要項および過去の授賞については、以下の URL でご確認ください。2017 年度以降の受賞者から許諾を得られ

た資料は公開しています。

<https://gisa-japan.org/awards/post-1.html>

応募期間：2025年7月1日（火）～8月31日（日）17時必着
表彰（原則各1点以内）：

国土交通大臣賞（総合的な観点）

地理情報システム学会賞（GISの効果的な活用の観点）

日本地図センター賞（地図の効果的な利用の観点）

ESRI ジャパン賞（GISの教育的な利用の観点）

主催・後援（予定を含む）：

主催：一般社団法人地理情報システム学会

後援：国土交通省、文部科学省、一般財団法人 日本地図センター、ESRI ジャパン株式会社、一般社団法人 人文地理学会、日本地図学会、公益社団法人 日本地理学会、毎日新聞社

11月開催の第34回地理情報システム学会学術研究発表大会内で表彰式を執り行います。選定された個人またはグループの代表者には、事例発表をお願いする予定です。なお、対面で参加される事例発表者の旅費等については、主催者側で全額または一部を負担する予定です。

■ 「ジュニア会友」募集開始のご案内

地理情報システム学会では、2025年度より「ジュニア会友」制度を設けることとして、ジュニア会友の募集を始めました。会費は無料で、学会メールニュースを受信できる他、研究発表大会にもジュニア会友向け価格で参加できます（2025年度は無料の予定）。

ジュニア会友になることができる方は以下のいずれかに該当する方となります。

- ・小学生、中学生、高等学校生
- ・大学学部1年生から3年生までの学生
- ・高等専門学校本科生または専攻科1年生
- ・短期大学生
- ・専門学校生

詳細は学会ホームページに掲載しております。対象の方はぜひご申請ください。

https://www.gisa-japan.org/member/junior_kaiyu.html

【事務局からのお知らせ】

■ 会員登録変更・退会等について

現在の会員登録の状況は、学会 WEB ページの会員専用ページから、ご自分で確認・変更することが出来ます。なお、今年度一杯で退会希望の方は、2025年3月31日までの手続きが必要です。（4月1日から、新年度の学会費が発生します）

■ 退会手続きについて

会員専用ページから、ご自分で手続きが可能です。なお、未納会費がある場合はお手続きができません。会費完納後に手続き可能となりますが、システム上手続きが進まない場合は事務局にご連絡ください。

今年度末で退会をご希望の方は、3月31日までに退会手続きを取られた場合は新年度の年会費は発生しません。

■ 2025年度年会費について

2025年度会費（2025年4月1日～2026年3月31日）納入については4月下旬頃、事務局よりご案内いたします。2024年度からの年会費は口座振替の利用によらず、正会員10,000円、学生会員5,000円となっております。

■ 学生会員のみなさまへ

2025年度も学生会員希望の方は、学生証のご提出が必要です。下記 URL より学生証のアップロードをお願いいたします。（4月3日まで）

<https://survey.mynavi.jp/cre/?enq=101IMEHx9xU%3d>

来年度以降学生ではなくなる方は、正会員への会員種別変更をお願いいたします。事務局までご連絡ください。

学生証のアップロード、または正会員への変更手続きがなかった方は退会とさせていただきますので、お忘れのないようお手続きをお願いいたします。

なお、来年度より「ジュニア会友」制度が設けられます。現在学生会員の学部1、2年生の皆様は対象となります。詳細は学会ホームページにてご確認ください。

2025年1月31日現在の個人会員1094名、賛助会員49社

賛助会員

朝日航洋株式会社, アジア航測株式会社, アドソル日進株式会社, 株式会社インフォマティクス, ESRI ジャパン株式会社, NEC ソリューションイノベータ株式会社, 愛媛県土地家屋調査士会, 応用技術株式会社, 大阪土地家屋調査士会, 株式会社かんこう, 関東中部G空間情報技術研究会, 岐阜県建設研究センター, NPO 法人九州GIS技術研究会, 近畿北陸G空間情報技術研究会, 株式会社こうそく, 国際航業株式会社, 国土情報開発株式会社, 株式会社古今書院, GIS支援センター, ジェイアール西日本コンサルタンツ株式会社, 株式会社ジオテクノ関西, ジオテクノロジーズ株式会社, 株式会社ゼンリン, 中四国G空間情報技術研究会, デジタル北海道研究会, 東北G空間情報技術研究会, 株式会社ドーン, 長野県G空間情報技術協会, にいがたGIS協議会, 日本工営都市空間株式会社, 日本情報経済社会推進協会, 日本スーパーマップ株式会社, 日本デジタル道路地図協会, 日本測量調査技術協会, 日本地図センター, パシフィックコンサルタンツ株式会社, 株式会社パスコ, 北海道G空間情報技術研究会, 株式会社マップクエスト, 株式会社マップル, 株式会社松本コンサルタント, 三菱電機株式会社, リモートセンシング技術センター, 経済産業省特許庁, 国土交通省国土地理院, 国土交通省不動産・建設経済局地理空間情報課, 総務省統計局・統計研究所研修所, 独立行政法人統計センター, 福岡県直方市

学会分科会連絡先一覧

■自治体：小泉和久（千葉県浦安市）
事務局：青木和人（あおきGIS・オープンデータ研究所）
Tel：050-5850-3290
E-mail：kazu013057@gmail.com
■ビジネス：高阪宏行（地理情報技術研究所）
Tel：03-5379-5601
E-mail：info@georetail.tokyo
■防災GIS：畑山満則（京都大学防災研究所）
Tel：0774-38-4333
E-mail：hatayama@imdr.dpri.kyoto-u.ac.jp
■地図・空間表現：若林芳樹（東京都立大学）
Tel：042-677-2601
E-mail：wakaba@tmu.ac.jp

■FOSS4G：Venkatesh Raghavan（大阪市立大学）
連絡先：嘉山陽一（朝日航洋株）
Tel：049-244-4032
E-mail：youichi-kayama@aeroasahi.co.jp
■若手分科会：関口達也（京都府立大学）
Tel：075-703-5428
E-mail：ta-sekiguchi@kpu.ac.jp
■GeoAI：巖網林（慶應義塾大学）
Tel：0466-49-3453
E-mail：yan@sfc.keio.ac.jp
■地理情報標準調査会：村上広史（青山学院大学）
事務局長：太田守重（国際航業株式会社）
Tel：03-5656-8685
E-mail：morishige_ota@kk-grp.jp

地方支部の連絡先一覧

<北海道支部>
支部長：株式会社ドーコン 三好達也
連絡先：NPO 法人 Digital 北海道研究会（内）
Tel：011-299-8104, E-mail：gisahokkaido@dghok.com
<東北支部>
支部長：東北大学 井上亮
Tel：022-795-7478, E-mail：rinoue@tohoku.ac.jp
<中部支部>
支部長：中部大学 福井弘道
連絡先：杉田暁（中部大学）
Tel：0568-51-9894, E-mail：satoru@isc.chubu.ac.jp
<関西支部>
支部長：大阪工業大学 田中一成
Tel：06-6954-4293, E-mail：gisa@civil.oit.ac.jp

<中国支部>
支部長：広島修道大学 川瀬正樹
Tel：082-830-1210, E-mail：kawase@shudo-u.ac.jp
<四国支部>
支部長：徳島大学 渡辺公次郎
E-mail：kojiro@tokushima-u.ac.jp
<九州支部>
支部長：九州大学 三谷泰浩
Tel：092-802-3399, E-mail：gisaku@doc.kyushu-u.ac.jp
<沖縄支部>
支部長：沖縄国際大学 崎浜靖
E-mail：sakahama@okiu.ac.jp
連絡先：澤岬直彦（NPO 法人沖縄地理情報システム協議会）
Tel：098-863-7528
E-mail：takushi7015keisayasaki@gmail.com

■ 編集後記 ■

早いもので、2024年度最後のニューズレターとなりました。年度末を迎え、皆様の周りでも組織改編や人事異動などの大きな変化がある時期かと思えます。学術や技術の進化はますます加速しており、10年前とは隔世の感があります。中でも生成AIは日常生活にも浸透してきて、利便性を実感する機会が増えてきました。私もローカルPCにLLMをセットアップし、さまざまな活用を試みているところです。

さて、先日息子2人を連れて春キャンプに行きましたが、大雨に見舞われ、強風が吹き荒れ、夜は極寒と過酷な体験となりました。季節の変わり目で天候が不安定な時期です。皆さまもどうぞお身体にはくれぐれもお気をつけてお過ごしください。

(株式会社 EARTHBRAIN 谷口亮)

地理情報システム学会ニューズレター
第133号 ●発行日 2025年3月25日

■発行

一般社団法人 地理情報システム学会

〒100-0003

東京都千代田区一ツ橋1-1-1

パレスサイドビル(株) 毎日学術フォーラム内

一般社団法人地理情報システム学会事務局

TEL: 03-6267-4550 FAX: 03-6267-4555

E-mail: maf-gisa@markmynavi.jp

URL: <http://www.gisa-japan.org/>